

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 門真市元町1113PJ 新築工	階数	地上14F
建設地	大阪府門真市元町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	164人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2023年2月25日
敷地面積	767㎡	作成者	西村誠
建築面積	262㎡	確認日	2023年2月27日
延床面積	2,642㎡	確認者	上土制昭



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	108%
③上記+②以外の	108%
④上記+	108%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.9
耐用性	2.5
対応性	2.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	2.8
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	3.0
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.3

地球温暖化	2.3
地域環境	2.0
周辺環境	2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
室内にはF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用し、各室の寝室部の天井は高く維持し、居心地の良い室内環境創りを目指した。照明はLED採用。	特になし
Q1 室内環境 室内にはF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用し、各室の寝室部の天井は高く維持し、居心地の良い室内環境創りを目指した。	特になし
Q2 サービス性能 特になし	特になし
Q3 室外環境(敷地内) 特になし	特になし
LR1 エネルギー 照明はLED採用。	特になし
LR2 資源・マテリアル 特になし	特になし
LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率: 108%	特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0162

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称) 門真市元町1113PJ 新築工事					
	建設地	大阪府門真市元町					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					2	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	2.3	2
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	1.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	1.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.8	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		